

要求に沿った回答を行え!

6月14日の回答予定日を6日も過ぎたのに貨物会社は、夏季手当の回答を行いません。社内調整が手間取っているとしていますが、国労の「賃金抑制計画」を前提とした超低額回答は許されないとの主張にもまともに答えていません。

もし、「賃金抑制計画」を夏冬の手当にすべて反映させるとどうなるのでしょうか? (この間の様々な資料に基づいた概算)

- ★ 事業計画などから人件費の削減は、約**34億円**
- ★ 期末手当を0.5ヶ月削減すると、約**10億円**
- ★ 生活給としての期末手当は、夏冬合わせて**3ヶ月**になっていた
- ★ 仮に毎年の計画で期末手当分を3ヵ月としていたなら、

1.5ヶ月削減すると**30億円** (まだ4億円足りない)

★ え?! 夏冬合わせて**1.5ヶ月**、夏は**0.75ヶ月**なの??
「賃金抑制」問題は解決していない別物です。それを夏季手当に反映させるのは大きな問題! 絶対に許せません!

賃金削減反対!

社員・家族の生活を考えた夏季手当の支給を行え!

国労東海かべ新聞

国鉄労働組合東海本部

編集責任者: 高木 宏